

令和7年5月13日

ウォーカブルなまちづくりの活動 提案書

活動名	みんなで歩こう！ワラーチdeみずでっぼう大会
提案者名	谷田 洋、井上 淑子
提案者の所在地	

【下記事項について記載してください。】

○開催時期：令和7年7月中旬～8月（夏休み期間中予定）

○活動場所：麴町小学校、車両通行止めした周辺

○目 的：

ウォーカブルな街づくりを実現する一環として、「歩くことの楽しさ」と「世代間交流」を促すイベントを開催。健康志向の高まりや、サンダル（ワラーチ）文化の浸透を活かしつつ、子どもから高齢者までが楽しめる「みずでっぼう大会」を行います。

○活動内容：

- ① 【みずでっぼう大会】：チーム対抗で水鉄砲バトル。年齢・性別を超えたチーム分け。安全なルール設定
- ② 【ワラーチ体験ブース】：手作りワラーチ体験、販売も可
- ③ 【パラコードアクセサリ体験ブース】：ワラーチで使用するパラコードアクセサリ作成
- ④ 【ウォーキングラリー】：街中のチェックポイントを巡るミニゲーム付きウォーキング（フォトリゲイニング）
- ⑤ 【交流コーナー】：飲食、縁日風屋台（キッチンカー）



【開催までのスケジュールを記載してください。（企画の検討や周囲との合意形成等の準備期間を踏まえて）】

6月 活動の概要を整理する。

それぞれの担当者を決める。

学校、道路使用許可の申請

7月 活動の詳細を決める。

飲食店（キッチンカー）の手配。

イベント周知、ポスター掲示。

8月 必要なものの確認。

準備 当日：会場の設営。

終了後、振り返り

【今回の活動を行いたいと思った理由を記載してください。（地域の課題やそれに対する解決策、まちに対する思い等を踏まえて）】

本イベントは、住民が自らの足でまちを歩く楽しさを再認識することで、ウォーカブルな都市環境の価値を体感できる機会を提供します。加えて、歩行や遊びを通じた自然な健康増進を促進し、子どもから高齢者までが参加・交流することで、多世代にわたる地域コミュニティの形成を支援します。これにより、地域の活性化を図るとともに、持続可能な市民参加型まちづくりへの一助となることを目指します。

【今回提案する活動の実施体制や役割分担、収支予定について記載してください。】

○実施体制・各主体や団体内の役割分担

- ・ちよだスプラッシュ、はだしのsoulちよだの2団体が主体となります。
- ・飲食店の協力（はとりさん、ちよだんごカフェさん、麴町ファクトリーさん、桜日和さん）キッチンカー
- ・NIPPONさん、ケンエレファントさん、フェイバレットパブリックさん、日東タオルさん
- ・麴町消防第一分団

○収支予定

支出 30万円 イベント企画運営経費

※飲食関連、熱中症対策グッズ・水遊び消耗品・他消耗品・ワラチ材料、備品購入、運搬費、講演者謝礼、チラシ印刷費 他

収入 30万円 千代田区助成金（希望）

【今回の活動後、継続的な活動を検討されている場合はそちらも記載してください。】
定期的な開催を通じて地域住民が主体となって運営する体制づくりを目指します。参加者からの声や現場の気づきをもとに、誰もが歩きやすい道づくりや環境改善について行政とともに考え、具体的な提言へとつなげていくことも可能です。こうした取り組みを重ねることで、地域の健康づくりや世代を超えたつながり、防災・福祉などと連動した広がりのある地域づくりへと発展していきます。最終的には、こうしたモデルを他の地域にも広げ、持続可能なまちづくりの実践例として発信していくことを目指します。

【今回提案する活動のポイントを記載してください。】

① **楽しみながら健康づくり！**

フラーチで歩くことを通じて、自然な姿勢や足の使い方を体感。遊び感覚で運動不足を解消！

② **みんなが主役！世代を超えた交流**

子どもから高齢者まで、みずでっぽうバトルで笑顔と対話が生まれる。地域の新しいつながりづくりに。

③ **街を歩いて発見！ウォーカブル体験**

イベントを通じて「歩きたくなる街」の魅力や課題に気づき、地域をもっと身近に感じられる機会に。

④ **地域が主役！手づくりイベント**

市民・団体・店舗などが協力し、企画・運営に関わることで地域愛や参画意識が育つ。

⑤ **未来につなげるまちづくりの第一歩**

イベントでの声や経験を次につなげ、定期開催や歩行環境の改善へと発展可能。

本活動に採択された場合、実施するにあたって下記に同意していただく必要がございます。同意いただける場合は、各項目の口をチェックを付けてください。（同意いただけない場合は、採択いたしかねますのでご了承ください。）

☒ 募集要項に記載の「3 応募資格」および「4 活動の要件」を満たしていること

☒ 採択後に本活動の趣旨に明らかに適していないと区が判断した場合は、活動の支援を取りやめる可能性があること

☒ 今後のさらなるウォーカブルなまちづくりの推進に向けて、提案書や活動報告書等については千代田区のホームページ等にて公開するため、了承の上作成すること

☒ 今回の活動を機に、その後の活動の支援を確約できるものではないこと

※上記に加え、企画書や説明動画などの補足資料を添付していただいても構いません。